

# 社会科の学習方法

## <到達目標>

- ① 広い視野で社会の様々な事柄を読み取ったり、理解したりするとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けること。
- ② 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて選択・判断したりする力、そして、解決に向けて思考判断し、その根拠を基に議論する力を身につけること。
- ③ よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養い、国民主権を担う公民として、自国の平和と繁栄を図ることや他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を身につけること。

## <分野別目標>

### 【地理】（1，2年）

地理的見方や考え方を培い、地域的特色をとらえ、地理的技能を身につけよう。

- ① どこに、どのようなものが、どのように広がっているのかを見いだす目を養う。
- ② なぜそこに、そのように分布しているのか。他の地域にも見られるのか。いつから見られるのか。これから先も見られるのか等を考える力を高める。
- ③ 地図や地球儀、写真、分布図、グラフや表などの活用ができ、その中から地域の情報を見つけ、地域的特色としてまとめることができる。また、そのまとめた情報を発信（表現・説明）する力を高める。

### 【歴史】（1，2，3年）

日本の歴史の大きな流れを世界の歴史を背景に、各時代の特色をふまえて理解しよう。

- ① 身近な地域の歴史や新聞、書籍、映像・写真、授業中示された諸資料などに関心を持つ。そして適切に収集・選択・活用し、課題を追究解決する。
- ② 各時代を代表する人物や文化遺産を学び、時代の特色を大きな流れの中で理解する。  
「なぜ、そのような歴史的な出来事が起きたのか、その結果どのような影響を及ぼしたか。」  
「この歴史的出来事とその他の歴史的出来事の共通点と相違点は何か。」  
「この歴史的出来事が起きた頃、世界ではどのような歴史的出来事があったのか。」
- ③ 日本と世界との関わりに着目し、国際協調、平和維持の精神を持つ。

### 【公民】（3年）

現代社会に関心を持ち、課題を見つけ、課題解決のための資料を分析してまとめ、発信しよう。

- ① 「なぜ？の思考」から課題は生まれる。「どうやったら解決できるだろうか？」を考え、粘り強く取り組む態度を養う。
- ② 諸資料を様々な角度から分析・考察・発表したり、ノート・レポートにまとめる力をつける。  
（例）業績をあげた企業を調べ、なぜ業績を伸ばしたかまとめ、発表する。  
議院内閣制と生徒会のしくみを比較し、共通点と相違点を図式化し、発表する。  
地球環境の問題に対して「なぜ？」の課題を見つけ、環境問題解決のためのよりよい社会のあり方について考察し、発表する。
- ③ 国際協調・世界平和の実現のために、各国民が協力し合うことの大切さについて自覚を深める。

## 社会科の学習計画

月	1 学年(地理)(歴史)	2 学年(地理)(歴史)	3 学年(歴史)(公民)
4	(地理) 世界の姿	(地理) 日本の諸地域的特色と地域区分	(歴史) 二度の世界大戦と日本
5	世界各地の人々の生活と環境	(歴史) 近世の日本	現代の日本と私たち
6	(歴史)		資料読解の強化演習
7	歴史へのとびら	(地理)	(公民)
8	古代までの日本	日本の諸地域(1)	現代社会と私たち
9	資料読解の強化演習	資料読解の強化演習	
10	(地理)		個人の尊重と日本国憲法
11	世界の諸地域(1)	日本の諸地域(2)	

12	世界の諸地域（2）	地域の在り方 （歴史） 開国と近代日本の歩み	現代の民主政治と社会
1	地域調査の手法 （歴史）		私たちの暮らしと経済
2	中世の日本 （地理）	※歴史レポート作成	地球社会と私たち
3	日本の姿 世界から見た日本のすがた 地理レポート作成		※テーマ別学習、ディベート、討論学習

## 社会科の評価方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価する内容	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
評価の内容など	○定期テスト中の知識・学習した内容の理解度を問う ○ワークシートへの記述内容による評価 ○資料を的確に読み取り、活用できているかの評価問題 ＜テスト＞	○レポート等作品の内容（資料の丸写しでなく自分なりの考察がある） ○課題解決学習時の発表の内容 ○思考判断を問う評価問題 ＜テスト＞	○単元のまとめや振り返り時のワークシートなどへの記述内容 ○課題解決学習における取り組み状況 ○ワーク、問題集、レポートの取り組み状況 ＜ワークシート＞

## 社会科の学習の仕方

- ①授業の約束を守る習慣をつけることがまず大事！  
2分前着席 忘れ物をしない 相手の話を真剣に聞く 提出物は期限を守る
- ②ノートやプリントにきちんとした文字でしっかりと書くこと！  
1年生は最低限黒板の内容を書くこと 2,3年生は友達や先生の言葉も書いてみよう。  
思考力・判断力の基となる知識・理解を身につける授業は、説明をしっかりと聞き、まとめることが基本です。向上心を持って臨みましょう。
- ③わからないことは、そのままにしないで！  
分からないことや疑問に思ったことは、そのままにしない。できれば自分で調べて、それでもできない場合は、先生や友達等に聞いて解決できるようにしていきましょう。
- ④予習・復習・テスト対策用に1冊別のノートを用意！  
自分でまとめることが1番理解度を上げます。特に予習復習はその日のうちにやるのが一番効果的ですが、それが無理なのであれば、週1回は学習内容をノートにまとめ直してみよう。テスト対策もそのノートを活用してやってみよう。
- ⑤自分のために、友達のために進んで発表！  
発表の多いクラスは、理解度が上がりテストの平均点も上がります。先生の言葉より自分で考えたことや友達の考えに触れた方が記憶に残ります。
- ⑥地図や年表に慣れよう！  
知らない地名が出たら地図を調べる習慣をつけたり、自分で地図や年表を書いてみよう。  
1年生は白地図や穴埋め年表を埋める作業から、2,3年生は自分で描ける力がほしい。
- ⑦社会科が面白くなる工夫をする、そして社会を知ろう！  
社会科が面白くなるよう工夫しよう。新聞記事やテレビのニュースや歴史マンガなどにたくさん触れたり、家族で話題として出したり、家族旅行で博物館や歴史資料館、遺跡を訪ねる等、社会の動きを知ることは学習が面白くなるだけでなく、自分が将来、社会の中で何をしていきたいか考える上でとても大切なことです。